

# 冬の火山



洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道では比較的温暖な地域ですが、冬には昼間でも気温が-2~3℃、冷え込む夜間は-10℃ほどになることもあります。



そんな時期だからこそ見られるのが、火山ならではの山の姿です。地下のマグマから伝わる熱が、山肌に積もる雪を溶かすため、雪がない部分は地熱が高いということが良くわかります。

昭和新山は1943年12月28日の地震発生から、1945年9月20日まで続いた火山活動で、地震と噴火を繰り返しながら隆起してできた火山です。

赤い山肌は、もともとは麦畑だった場所の土が溶岩の熱で焼かれ、天然のレンガのようになったもの。山肌の様子も、木々の葉が落ちた冬だからこそ、くっきりと見ることができます。

夏とは違う「生きている火山」の様子を楽しめるのも、冬ならではのですね。

## 第34回昭和新山国際雪合戦 開催！

昭和新山国際雪合戦は、冬期間の地域活性化イベントとして1989年に第1回が開催され、毎年2月に壮瞥町・昭和新山の麓を会場に、回を重ねてきました。

雪遊びの楽しさをスポーツにまで高めた、選手も観客もどちらも楽しめるイベントです。

子どもの頃に楽しんだ雪遊びとの違いは、ルール

がしっかり定められていること。コート（雪壁）の広さ、シェルター（雪壁）位置や大きさも決まっています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年の休止を経て開催される大会です。予選を勝ち抜いてきた強豪チーム同士の試合を、ぜひ間近でご覧ください。

### 第34回昭和新山国際雪合戦

開催期日：令和5年2月25日（土）・26日（日）

開催場所：壮瞥町・昭和新山山麓特設会場

主催：国際雪合戦連合・NPO法人雪合戦  
インターナショナル

※令和5年1月10日時点の情報です。  
※詳細は公式HPをご確認ください。

